

CASBEE-建築(新築)2016年版
 舞鶴倉庫株式会社 営業用倉庫新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q1 建築物の環境品質						2.3	
Q1.1 室内環境			0.30			19.7			
1 音環境		1.8	0.15			1.8			
1.1 室内騒音レベル		2.0	0.40						
1.2 遮音		1.0	0.40						
1 開口部遮音性能		1.0	1.00						
2 界壁遮音性能		-	-						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-						
1.3 吸音		3.0	0.20						
2 温熱環境		1.0	0.35			1.0			
2.1 室温制御		1.0	0.71						
1 室温	記入例;エアフローウィンドウの採用	1.0	0.60						
2 外皮性能		1.0	0.40						
3 ゾーン別制御性		-	-						
2.2 湿度制御		1.0	0.29						
2.3 空調方式		-	-						
3 光・視環境		2.4	0.25			2.4			
3.1 昼光利用		3.0	0.30						
1 昼光率		3.0	0.60						
2 方位別開口		-	-						
3 昼光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		1.0	0.30						
1 昼光制御		1.0	1.00						
3.3 照度		3.0	0.15						
3.4 照明制御		3.0	0.25						
4 空気質環境		3.0	0.25			3.0			
4.1 発生源対策		3.0	0.50						
1 化学汚染物質		3.0	1.00						
4.2 換気		3.0	0.30						
1 換気量		3.0	0.50						
2 自然換気性能		-	-						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50						
4.3 運用管理		3.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御		3.0	0.50						
Q2 サステナビリティ			0.30			2.9			
1 機能性		2.5	0.40			2.5			
1.1 機能性・使いやすさ		-	-						
1 広さ・収納性		-	-						
2 高度情報通信設備対応		-	-						
3 バリアフリー計画		-	-						
1.2 心理性・快適性		2.0	0.50						
1 広さ感・景観		3.0	0.33						
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33						
3 内装計画		1.0	0.33						
1.3 維持管理		3.0	0.50						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30			2.7			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		1.8	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20						
3 電気設備		1.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		1.0	0.20						

3	対応性・更新性		3.9	0.30	-	3.9
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	-
	1 階高のゆとり	軒高さ7.41m	5.0	0.60	-	-
	2 空間の形状・自由さ	260m+160m=420m/5000㎡=0.084	5.0	0.40	-	-
	3.2 荷重のゆとり	3900	4.0	0.30	-	-
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			2.0	0.40	-	2.0
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮	-	1.5	0.30	-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	1.0	0.50	-	-
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			2.5	0.40	-	2.5
LR1 建築エネルギー			2.5	1.00	-	2.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用	-	-	-	-	-
3	設備システムの高効率化	-	-	-	-	-
4	効率的運用	-	2.5	1.00	-	2.5
	集合住宅以外の評価	-	2.5	1.00	-	-
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-
	4.2 運用管理体制	-	2.0	0.50	-	-
	集合住宅の評価	-	-	-	-	-
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-
LR2 資源・エネルギー			2.2	0.90	-	2.2
1	水資源保護	-	2.2	0.20	-	2.2
	1.1 節水	-	1.0	0.40	-	-
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	-
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-
2	非再生性資源の使用量削減	-	2.5	0.60	-	2.5
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.11	-	-
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.22	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避	-	4.4	0.20	-	4.4
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-
	3.2 フロン・ハロンの回避	-	5.0	0.70	-	-
	1 消火剤	-	-	-	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤不使用	5.0	1.00	-	-
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			2.7	0.50	-	2.7
1	地球温暖化への配慮	-	-	-	-	-
2	地域環境への配慮	-	2.3	0.50	-	2.3
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	-	2.2	0.25	-	-
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-
	3 交通負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-
3	周辺環境への配慮	-	2.7	0.50	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止	-	3.0	0.40	-	-
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-
	2 振動	-	-	-	-	-
	3 悪臭	-	-	-	-	-
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制	-	3.0	0.40	-	-
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-
	3.3 光害の抑制	-	1.6	0.20	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	1.0	0.70	-	-
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	2.0						○		○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		-	-	○	-	-	○	-	○	-				
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	-		-	-	-	○	○	○	○			
2.4.1 空調・換気設備	-		○												
2.4.2 給排水・衛生設備	-		-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	-		-	-	-	-	-	-	-						
2.4.5 通信・情報設備	-		-	-	-	-	-	-	-						
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	2.0	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-						
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		-	-	-	-	-	-	-						
3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-						
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0		-	-	1.0	2.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-		
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-		
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3.3.1 昼間照明及び室内照明のうち外に覆れる光への対策	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

主な指標		窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)	
Q1 室内環境		U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁
2.1.3 外皮性能		住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
		床			ηAH
3.1.1 昼光率		昼光率	1.5%		
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率	0.0%		
Q2 サービス性能		執務スペース	0.0㎡/人	病床	0.0㎡/床
1.1.1 広さ・収納性		シングル	0.0㎡ ツイン	0.0㎡	
1.1.2 高度情報通信設備対応		コンセント容量	0.0 VA/㎡		
1.2.1 広さ感・景観		天井高	0 m		
1.2.2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース	%	レストスペース	%
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定耐用年数	30 年		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔	20 年		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔	0 年		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		想定必要間隔	0 年		
3.1.1 階高のゆとり		階高	7.415 m		
3.1.2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率	8.4%		
3.2 荷重のゆとり		床荷重	3900 N/m2		
Q3 室外環境(敷地内)		外構緑化指数	15%	建物緑化指数	0%
1 生物資源の保全と創出		空地率	45%	水平投影面積率	10%
3.2 敷地内温熱環境の向上		地表面対策面積率	6%	舗装面積率	0%
LR1 エネルギー		BPI/BPIin	-	断熱等性能等級	対象外 相当
1 建物外皮の熱負荷抑制		自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%
2 自然エネルギー利用				採光を満たす住戸数	80.0%
				通風を満たす教室数	80.0%
				通風を満たす住戸数	80.0%
3 設備システムの高効率化		BPI/BPIin	非住宅	-	住宅
LR2 資源・マテリアル		雨水利用率	0.0%	太陽光	.0kW
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		特定調達品目	-	エコマーク商品	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		使用比率	0.0%	自治体指定の特定品目等	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
3.2.1 消火剤		オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1430
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8
3.2.3 冷媒					
LR3 敷地外環境		見付面積比	71%	隣棟間隔指標Rw	0.40
2.2 温熱環境悪化の改善		地表面対策面積率	9.0%	屋根面対策面積率	10.0%
		外壁面対策面積率	0.0%	見付面積Sb	593㎡
		卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	112.5 m	基準高さHb	7.415 m
		緑地	624㎡	水面	㎡
		保水性対策面	㎡	高反射対策面	200㎡
		再帰性反射対策面	300㎡		